

一 般 質 問

令和5年第3回（9月）定例会

通告順	議席番号	議 員 名	ページ
1	1 5 番	山 中 敏 正	2
2	1 9 番	渡 邊 光 子	4
3	6 番	岩 崎 隆 志	6
4	3 番	砂 川 和 也	7
5	1 1 番	岡 安 政 彦	9
6	1 2 番	相 馬 正 人	10
7	8 番	仲 又 清 美	11
8	1 番	坂 本 敏 治	14
9	4 番	岡 野 千枝子	16
1 0	9 番	にいつま 亮	18
1 1	1 8 番	糸 井 政 樹	20
1 2	2 番	星 野 充 生	22
1 3	1 4 番	加 藤 ただし	24
1 4	1 3 番	浦 田 充	26
1 5	5 番	北 村 あやこ	28
1 6	1 0 番	新 島 光 明	30
1 7	1 7 番	佐 藤 洋	33

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は
1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

15番 山中 敏正

1. 農地付き空き家への取組について

(1) 空き家バンクについて

- ① 桶川市の空き家の推移について、伺います。
- ② 空き家バンク制度の内容について、伺います。
- ③ 物件の登録数と成約数の推移について、伺います。

(2) 農地付き空き家制度について

- ① 制度概要と要件について、伺います。
- ② 取組のポイントについて、伺います。
- ③ 県内での取組状況について、伺います。

(3) 桶川市での取組について

- ① 農地付き空き家の推移と将来予測について、伺います。(資料にて説明願います)
- ② 農地付き空き家のメリットについて、伺います。
- ③ 農地付き空き家の活用について、伺います。

2. 環境教育と学校施設のZEB化について

(1) 小中学校における環境教育について

- ① 当市でのねらいについて、伺います。
- ② 各学校での取組状況について、伺います。
- ③ 地域と連携した取組について、伺います。

(2) 学校施設のZEB化について

- ① 定義について、伺います。
- ② メリットについて、伺います。
- ③ 教育的効果について、伺います。

(3) エコスクール・プラスについて

- ① 概要について、伺います。
- ② 事業タイプごとの支援措置について、伺います。
- ③ 認定についての桶川市の見解について、伺います。

3. 越境枝の切除について

(1) 民法改正前の対応について

- ① 改正以前の内容について、伺います。
- ② 越境枝の相談件数の推移について、伺います。(資料にて説明願います)

ます)

③ 相談内容への市の対応について、伺います。

④ 所有者不明時の対応について、伺います。

(2) 民法改正後の対応について

① 改正概要について、伺います。

② 除去する際の注意点について、伺います。

③ 桶川市としてのルールづくりについて、伺います。

④ 市民への周知について、伺います。

(3) 民有林の保全管理について

① 桶川市での取組状況について、伺います。

② 森林環境譲与税を活用した取組事例について、伺います。

③ 森林環境譲与税を活用した桶川市での今後の取組について、伺います。

19番 渡邊 光子

1. 駅西口タクシー降車場について

タクシーから降車する場所が、通常のタクシー乗り場のような安全な場所では有りません。早急なタクシー降車場所整備を伺います。

2. 駅西口階段下等の清掃、整備について

- (1) 駅西口階段の花壇との間にあるフェンス際のごみの除去を伺います。
- (2) 前にも問題として質問をしたことがあるが、階段下にあるトイレ清掃道具等、またフェンス際にある花壇の手入れの道具等が駅利用者から見えるが、この状態は桶川市の玄関口にふさわしいのか伺います。
- (3) 線路際の花壇について、花を植えている女性と話を交わしたが、「皆が高齢になり人数も少数になった、以前からあじさいの花等の植樹を市へ意見をしているが、市は前向きではない」と言っていた。私も以前から同じようなことを言っているが、中木の植樹をすることを伺います。
- (4) 前にも問題として質問したことがあるが、エレベーター乗り口の裏側の植木は幼児の姿が、防犯カメラに写る程に剪定した方が良いのではないか。昨今の考えられない、予想できない事故からの安心安全を確保するために伺います。
- (5) 駅西口構内の雑草が目立ちます。以前は高齢の女性が除草をしていたが現在を伺い、今後の除草について伺います。
- (6) 時計台があり、らせん階段がある所は平らにして、らせん階段は除去し、送迎等の車の駐車場に整備することを伺います。

3. 駅西口から公園に向かう歩道の低木は非常に高くなっている。前記(4)と同様に予想できない事故からの安心安全を確保するために、植木の上から幼児の姿が見えるほどに低木に剪定することを伺います。

4. 各公共施設に目安箱の設置について

夜間に農業センター駐車場を利用する機会があり、明るい館内から駐車場へ出た時だった。夜間照明がなく暗かったことで、つまずき転んでしまった。とっさのことに「ケガをしたらどうしよう」という不安がよぎった。私が転んだことで市へ「夜間照明の設置」を申告したことで、仮設の夜間照明が早速ついた。しかし、今年の桜の咲く前に農業センターリニューアル案内が議員にあり、私が転ぶまでの間に農業センター指定管理者より市へ夜間照明の設置を申し入

れていたが、返事は「生涯学習センターリニューアル完成時につける」と言うことだったと聞く。農業センター駐車場の夜間照明が1年以上もなかったのだ。市長の理解のもとに市長へ市民の声が直接届いていたなら1年も待たずに夜間照明はついていただきたいと思います。市長直接に訴えるため、徳川吉宗が用いた行政トップへの直訴状を目的とする目安箱を各公共施設設置について伺います。

5. 川田谷の道の駅周辺の公道について

- (1) 農業センター周辺の公道は段差が多くある。解消はできるのか伺います。
- (2) 農業センターへの公道からの入り口は急な上り坂で、くぼみもあり危険です。安全な整備を伺います。

6. 農業センターについて

- (1) 農業センターの階段に手すりの設置を伺います。
- (2) 農業センター玄関前までの車イスを含む歩道の拡幅を伺います。
- (3) 農業センター玄関前までの車道は大きく曲がっている。ポール等を設置して、通路の幅が分かるようにしたらどうか伺います。

6 番 岩崎 隆志

1. 桶川市も生成A Iを導入して課題を解決し、より良い未来を作ってみませんか。

- (1) 生成A Iを導入することで、どのような業務や課題に対して効果が期待できるか伺う。
- (2) 生成A Iを導入することで、どのようなコストや時間の削減が見込めるか伺う。
- (3) 生成A Iを導入することで、どのような付加価値や競争力の向上が可能になるか伺う。
- (4) 生成A Iを導入する際に注意すべきリスクや課題は何か伺う。

2. ごみ処理広域化推進事業について

- (1) 川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会で取り組む事業について伺う。
- (2) 協議会の進捗状況について伺う。

3. より市民に親しまれる城山公園に

- (1) じゃぶじゃぶ池について
 - ① 池周辺の園内灯の増設について伺う。
 - ② 隣接する時計台の時計が止まっているが修繕について伺う。
 - ③ 池の水の安全性について伺う。
- (2) 公園整備について
 - ① ドッグランの整備計画について伺う。
 - ② 樹木を計画的に伐採し、明るく安全な再整備について伺う。
 - ③ 三ツ木城址北側にある廃屋の囲いが味気ないので囲いにオケちゃんマーク等を設置できないか伺う。
- (3) 公園維持管理について
 - ① 虫が付きやすい桜の木を、なぜ築山（観客席）に植えるのか伺う。
 - ② 公園の開閉門時刻について伺う。
- (4) 公園でのイベントについて
 - ① 桜の開花時期に柵の中に入れない理由を伺う。
 - ② 多目的グラウンドでのイベント等で駐車場が混むことが予想される際は、看板等で事前に混雑予想を公園利用者に周知できないか伺う。
 - ③ 川島町の公園のように、イベント等でキッチンカーを呼ぶなど、桶川市や地域青年部と協同しての賑わいの創出について伺う。

3 番 砂川 和也

1. 高齢化社会の対応について

(1) 循環バスに対する利用者の声について

- ① 試行運行のルートについての検討状況は、どのようになっていますか。
- ② 健康保険証の提示については、どのような検討を行っていますか。

(2) 100歳体操について

- ① 運営者の高齢化の課題についてどのように考えていますか。
- ② 予定変更などの連絡方法について運営者の負担軽減策を伺います。

(3) マイナンバーカードについて

- ① 高齢者への発行状況と未発行の理由について教えてください。
- ② 銀行口座との紐付け状況と活用方法、実績について教えてください。
- ③ 健康保険証への移行と市独自の周知方法は、どのように進めて行きますか。

2. 各校の特徴に合わせた教育環境の充実について

(1) 施設や設備、備品等の老朽化の実態把握について

- ① 各校舎内の状況は、どの程度把握していますか。
- ② 各校舎外の状況は、どの程度把握していますか。

(2) 部活動の状況と活動環境の変化について

- ① 廃部等による近年の状況は、どのようになっていますか。
- ② 活動場所の変化と廃部等による不要品の管理は、どのようになっていますか。

(3) 校内の樹木等の管理について

- ① 学校からの相談状況と各学校の状況把握について教えてください。
- ② 各校樹木医による調査を行った場合、どの程度の予算がかかりますか。

(4) 教育環境整備について

- ① コミュニティスクール等、地域の意見は、どのようなものがありますか。
- ② 民間の力を活用した環境整備の可能性もしくは、事例について教えてください。
- ③ 老朽化した設備等の更新の計画または、予定はありますか。

3. 地域に根ざしたべに花づくりについて

(1) 今年度の開催状況について

- ① 開催目的と開催結果についての市の見解を伺います。
- ② 各会場の来場者数と参加団体の開催後の声について教えてください。
- ③ 事業費の内訳について教えてください。(資料)

(2) 次年度の開催に向けて

- ① 今年度の課題と次年度の開催に向けた改善点は、どのように考えていますか。
- ② 友好都市白鷹町のべに花まつりの特徴と協定の目的と効果について教えてください。
- ③ 地域の人により身近に感じられる開催方法について考えていることはありますか。

(3) 道の駅開業を見据えたべに花まつりについて

- ① 市として抱いているイメージは、どのようなものですか。
- ② 今後、道の駅運営者と主催団体は、どのような連携と構想を考えていますか。

1 1 番 岡安 政彦

1. 桶川市の安心安全まちづくりについて

(1) 通学路の安全対策について

- ① P T Aによる通学路安全点検について伺う。
- ② 公共工事における通学路の変更について伺う。
- ③ 子ども110番の活用について伺う。
- ④ 地域での通学路見守り活動について伺う。

(2) 子どもたちの自転車安全対策について

- ① 自転車講習の実施状況について伺う。
- ② ヘルメットの着用状況について伺う。

(3) まちを守る防犯カメラの設置について

- ① 近隣の市町村の防犯カメラの設置状況について伺う。
- ② 市内の防犯カメラの設置状況について伺う。
- ③ 公用車のドライブレコーダーの設置状況について伺う。
- ④ 防犯カメラの必要性について伺う。
- ⑤ 商店会・自治会での設置に対する補助の考えについて伺う。

(4) 新たな防災計画について

- ① 市民・行政内の周知について伺う。
- ② 医師会の災害時での協力体制について伺う。
- ③ 災害時での外国人への対応について伺う。
- ④ 自主防災組織と市の役割分担について伺う。
- ⑤ 要支援者の避難方法と現状について伺う。
- ⑥ 帰宅困難者支援体制について伺う。
- ⑦ 今年度の防災訓練について伺う。

1 2 番 相馬 正人

1. サンアリーナの改修、修繕、充実について
 - (1) サブアリーナの改修
 - ① 雨漏りの状況
 - ② エアコンの設置
 - (2) 用具の充実
 - ① 修繕や交換の必要な用具
 - ② 寄付された用具の扱い
2. 市内小中学校の特別教室へのエアコンの設置について
 - (1) 通常教室でのエアコンの使用状況
 - ① 利用時間、利用条件
 - ② 問題点
 - (2) 特別教室の利用状況
 - ① 授業としての稼働率
 - ② 授業以外での利用状況や内容
 - ③ 特別教室へのエアコン設置
3. 民間防災倉庫の設置について
 - (1) 防災倉庫の設置状況
 - ① 設置場所
 - ② 管理方法
 - ③ 問題点
 - (2) 民間活力の導入
 - ① 民間への委託
 - ② 空き家や空き地の活用
 - ③ 民間店舗への設置

8 番 仲又 清美

1. 安心・安全で魅力あるまちづくりについて

(1) 桶川駅前のバリアフリー化の推進について

- ① 駅東口のバリアフリー対策の実績と今後の方向性について
- ② 駅西口のバリアフリー対策の実績と今後の方向性について

(2) 危険な交差点の解消について

- ① 通学路、および、市民要望があった箇所の実績と経過観察の箇所について
(※過去5年間の実績と経過観察の箇所について資料希望)

(3) 樹木等の適切な管理について

- ① 本市が管理する施設の樹木や街路樹等の倒木等の事故について
(※過去5年間の事例について資料希望)
- ② 本市が管理する施設の樹木や街路樹（植栽帯含む）の整備の方向性について
- ③ 市民（地権者含む）が樹木を適切に管理できるための本市の役割について
- ④ 令和5年4月1日施行の民法第233条の改正内容と周知について

(4) 公共施設配置プランの推進について

- ① 東側の現況と方向性について
- ② 西側の現況と方向性について

(5) 防災対策について

- ① 過去に被害があった台風やゲリラ豪雨等、水害対策の現況について
(※主な取組の資料希望)
- ② トイレトレーラー等、最新の防災備品の導入の方向性について

2. 子育てしやすいまちづくりについて

(1) 産後ケアの推進について

- ① 産後ケアの現況と方向性について
- ② 0歳から2歳までの低年齢児の支援の現況と方向性について

(2) 中央児童館（仮称）の早期建設について

- ① 中央児童館（仮称）建設に向けての方向性について

- ② 中央児童館（仮称）が設置された場合の現児童館の方向性について
- (3) 保育所・放課後児童クラブ利用者の支援について
 - ① 保育所の待機児童ゼロの取組の現況と方向性について
 - ② 放課後児童クラブの待機児童ゼロの取組の現況と方向性について
 - ③ 兄弟が就学している第2子の保育料の軽減の方向性について
 - ④ 夏休み等、長期休業中の放課後児童クラブ利用者の昼食の提供について
- (4) 障がい児の早期発見・早期支援について
 - ① 就学前の健診体制の現況と支援の方向性について
 - ② 5歳児健診の導入の方向性について
(※県内の実施している自治体について資料希望)
- (5) 15歳から18歳（高校生等）への経済的支援について
 - ① 物価高騰対策の支援について
 - ② 語学検定費用や海外への修学旅行等の任意予防接種費用の助成について
- 3. 教育環境の充実について
 - (1) 小・中学校施設の充実について
 - ① 学習環境の充実のため、本市が取り組んだ主な実績と今後の方向性について
 - ② 体育館等、避難所施設として取り組んだ主な実績と今後の方向性について
(※過去5年間の実績について資料希望)
 - (2) 通級指導教室の現況と方向性について
 - ① 各通級指導教室の現況と実績について
(※過去5年間の実績について資料希望)
 - ② 保護者からの要望や課題について
- 4. 高齢者が元気なまちづくり
 - (1) 外出支援について
 - ① 外出支援の現況について
 - ② 高齢者版ファミリーサポート事業の導入について
 - (2) 各種予防事業について
 - ① 予防接種（高齢者肺炎球菌、带状疱疹、インフルエンザ等）の助成事業の実績と市内の実施医療機関に加えて近隣市へ拡大する方向性

について

- ② 認知症予防のための耳の聞こえに関する検査の導入について
- ③ 補聴器購入の助成の現況について

5. いのちを守るまちづくり

(1) がん予防の推進について

- ① 各種がん検診の受診率について
(※令和元年度から現在までの実績について資料希望)
- ② 乳がん・子宮頸がんの通年個別検診の導入の方向性について
(※近隣市の現況について資料希望)
- ③ 子宮頸がん予防の推進について
- ④ H P V 関連がん予防のためのH P V ワクチン接種推進の方向性について
(※県内初の熊谷市の男性へのH P V ワクチン助成事業の資料希望)

(2) 「がん教育」の充実

- ① 小・中学校の「がん教育」の現況について
(※実績のわかる資料希望)
- ② 専門家による「いのちの授業」などの方向性について

1 番 坂本 敏治

1. デジタル化の推進と個人情報保護について

- (1) デジタル化の現状について伺う。
 - ① 市の業務におけるデジタル化の現況について
 - ② デジタル化に関する職員研修の実施状況について
- (2) デジタル化の効用とリスク管理について伺う。
 - ① デジタル化によって市民サービスが向上した点又は向上する点について
 - ② デジタル化によるリスクに関しての、市の認識について
- (3) 個人情報保護について伺う。
 - ① 社会問題となっているマイナンバーカード紐付けでの問題は生じていないか。
 - ② 市が入手している又は入手する個人情報はどうのように守られるのか。

2. 衛生的な地域環境について

- (1) 不法投棄・ごみ等のポイ捨て防止について伺う。
 - ① 桶川市環境美化に関する条例の制定目的について
 - ② 不法投棄・ごみのポイ捨て防止の取組の現状について
- (2) ごみ等のポイ捨ての現状について伺う。
 - ① ごみ等のポイ捨てに関する相談はありますか。
 - ② ポイ捨てが繰り返される場所はありますか。
- (3) 圏央道緑地帯（上日出谷地域）のごみのポイ捨て防止について伺う。
 - ① 所有者の責務として「管理する土地等の適正な管理」とあるが、どのような管理が求められるか。
 - ② 緑地管理者に雑草除去回数増や注意喚起看板設置など要請できないか。

3. 新型コロナウイルス感染症対応について

- (1) 新型コロナウイルス感染症類型変更後の対応について伺う。
 - ① 感染者の動向等の県からの情報提供はどの程度あるのか。
 - ② 市はコロナ感染症の現在の感染状況をどのように認識しているか。
 - ③ 感染症予防での保健所業務と健康増進課（保健センター）の関係について

(2) 新型コロナウイルス感染症対策での教訓について伺う。

- ① 「新型インフルエンザ等対策行動計画」はどう生かされたのか。
- ② 「新型インフルエンザ等対策行動計画」の見直しについて市の考えを示してください。

4 番 岡野 千枝子

1. 緑のまちづくり基本計画について

(1) 市内の緑の現状について

- ① 市域面積における緑地の割合の推移について伺う。
- ② 民地と公共地の緑の割合について伺う。
- ③ 緑の保全状況について伺う。

(2) 他の計画等との関連性について

- ① 都市マスタープランについて伺う。
- ② 環境基本計画について伺う。
- ③ ゼロカーボンシティについて伺う。

(3) 計画見直しの方向性について

- ① 見直しに必要な観点について伺う。
- ② 見直し方法について伺う。
- ③ 見直し時期について伺う。

2. 散歩しやすい歩道について

(1) 歩道の安全性確保について

- ① 市内の歩道付き道路の割合について伺う。
- ② 歩道の役割と必要性について伺う。
- ③ 歩道の設置基準について伺う。

(2) 歩きやすい歩道環境について

- ① 歩道幅員の基準について伺う。
- ② 電柱や看板の設置基準について伺う。
- ③ 歩道の水たまり対策について伺う。

(3) 歩道の樹木について

- ① 植樹帯や植樹柵の設置基準を伺う。
- ② 低木のある歩道の必要性について伺う。
- ③ 樹木の根の維持管理について伺う。

3. おいしい学校給食について

(1) 給食づくりについて

- ① 自校方式とセンター方式の違いについて伺う。
- ② 自校方式のメリットとデメリットについて伺う。
- ③ センター方式のメリットとデメリットについて伺う。

(2) 献立作りについて

- ① 献立作りの考え方について伺う。
- ② 食材の選び方について伺う。
- ③ 市内農産物の日常使いについて伺う。

(3) 給食費について

- ① 県内での給食費の実情について伺う。(資料)
- ② 食材と給食費の関係について伺う。
- ③ 物価高騰の影響と対策について伺う。

9 番 にいつま 亮

1. 本市の人口について

- (1) 少子高齢化が与える影響について、市の見解を伺う。
- (2) 本市の人口の動向について
 - ① 現在の人口・合計特殊出生率について伺う。
 - ② 今後の人口動態・合計特殊出生率について、市の見解を伺う。
- (3) 本市の人口増加策について
 - ① (1)、(2)の答弁を踏まえて、人口増加策で注力すべきターゲット層はどこになるか、市の見解を伺う。
 - ② 注力すべきターゲット層が求めている環境について、市の見解を伺う。
 - ③ 注力すべきターゲット層が求めている環境に対しての市の取組について伺う。

2. 子育てしやすいまちづくりについて

- (1) 子育て世代に選ばれるまちになることのメリットについて、市の見解を伺う。
- (2) 子育てしやすいまちとは、市の見解を伺う。
- (3) 子育てしやすいまちの条件について
 - ① 行政支援の充実について、市の現状と見解を伺う。
 - ② 子育てしやすい環境について、市の現状と見解を伺う。
 - ③ 安全性、治安について、市の現状と見解を伺う。
 - ④ 特徴ある教育、充実について、市の現状と見解を伺う。
 - ⑤ 住民の意識について、市の現状と見解を伺う。

3. 地域経済活性化とまちづくりについて

- (1) 地域経済の将来のあるべき姿について、市の見解を伺う。
- (2) 地域経済の目指すべき方向性について
 - ① 需要の拡大について、市の見解を伺う。
※内需の拡大（内発的・外発的）、外需の拡大の視点から
 - ② 企業活動の集積・活性化について、市の見解を伺う。
※事業環境の整備、事業機会の創出の視点から
 - ③ 利活用すべき資源・条件について、市の見解を伺う。
※自然環境、歴史蓄積、立地条件の視点から

- (3) 地域経済における各セクターの役割について
 - ① 事業者の役割について、市の見解を伺う。
 - ② 経済関連団体の役割について、市の見解を伺う。
 - ③ 行政の役割について、市の見解を伺う。
 - (4) 地域内の回遊創出がもたらす地域活性化とまちづくりについて
 - ① 道の駅と中心市街地の回遊が地域経済とまちづくりにもたらす効果について、市の見解を伺う。
 - ② デジタル地域通貨と地域社会との連携が地域経済、まちづくりにもたらす効果について、市の見解を伺う。
- ※行政ポイントとの連携や、子ども・高齢者の見守りなどの視点

18番 糸井 政樹

1. 子どもの命を守ることにについて（児童相談所との連携について）

近年各地で、耳を覆いたくなるような子どもへの虐待事件が報じられています。本年6月には兵庫県神戸市で打撲痕のある男児の遺体がスーツケースに入れられた状態で発見され、母親や叔父など4人が逮捕された事件が発生し、7月には大阪府大東市でも小学生の娘に十分な食事を与えず低血糖症にさせ、入院で支払われる共済金をだまし取ったとして母親が逮捕されるなど虐待の被害を受けた子どもの事件が相次いでいる。

- (1) 県の相談機関である児童相談所は当市では子ども未来課が中心として連携しているとお聞きしているが、教育委員会等どのような部署が連携し、その手順はどのように行われているのか伺います。
- (2) 虐待の種類は身体的虐待やネグレクトなど、どのようなものがあるのか伺います。
- (3) 警察、消防、病院など外部の機関とどのような連携が取られているのか伺います。
- (4) 当市において虐待等による相談や、子どもの保護など近況で発生しているならば、個人情報に配慮した上で話せる範囲でお聞かせください。
- (5) 子どもに対する悲しい事件を発生させないよう、連絡協議会や定期的な会議のようなものが設置されているならご説明ください。

2. 新ごみ処理施設の将来について（6月議会に続く）

令和5年2月15日に川島町・桶川市のごみ処理の広域化に関する協定書が締結され、この協定書に基づき「川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会」が4月1日に設置され5カ月が経とうとしています。処理場の場所を決定いただき、その他多くの事務を担っていただいた川島町さんには大変感謝を申し上げるところであります。自前の処理施設を持たない当市にとっては、喫緊の大きな課題であると認識をしております。

- (1) この5カ月間でどのような決定事項、進捗があったのかお知らせください。また、今後どのような流れで当初計画の令和13年供用開始に繋がっていくのか伺います。
- (2) 費用負担割合の決定時期や国からの交付金においても最新技術を導入した場合、交付率の引き上げもあり得るとの話もあります。最大の効果を上げるための検討について伺います。
- (3) 令和6年度における当市の可燃ごみ処理の目途は立っているのか伺い

ます。

3. 総合グラウンド構想と当市の財政状況について

私は初当選をさせていただいてから約12年、野球場を含む新総合グラウンドの建設要望をお願いして参りましたが、議会に携わっておりますと、市の事業の優先性、緊急性を鑑みますと、どうしてもトーンが下がってまいります。しかしスポーツの振興、将来ある子ども達のためには市民の皆様が使えるグラウンド整備は必要不可欠です。

政策の「あれもこれも」から「あれかこれか」を踏まえながらお伺いをいたします。

- (1) 将来に向けた当市の財政計画の健全化について見解を伺います。
- (2) 平成29年3月に策定された成果物である「桶川市総合グラウンド構想」の取り扱いと今後について市の考えを伺います。
- (3) 当市の屋外運動施設について現状をどのようにお考えか市の見解を伺います。

2 番 星野 充生

1. 教職員のなり手不足問題

(1) 6月の一般質問にて、今年度始業時の教員の欠員が小学校4名、中学校1名であることが分かり、6月時点でその問題は解消されていなかった。

① 2学期開始時点での状況とその対応について問う。

2. 学校給食費について

(1) 数年前から食料品の値段は徐々に上がっていき、給食費への影響が心配されていた。過去の学校給食運営委員会でも、値上げの検討も視野に入れた報告がされていた。そのうえで、この1、2年の急激な物価高騰である。給食費にどれほどの影響を与えるのか不安は尽きない。

① 今年度は物価高騰の影響をうけず給食費は現状のままであった。
そのための工夫はなにがあったか。

(2) そもそも憲法26条にて「義務教育は、これを無償とする」とあるとおり、給食も教育の一環である以上、無償とすべきである。物価高騰で家計が圧迫されるなか、子どもたちにはお金の心配なく学校生活を送ってもらうよう行政は努力すべきである。8月、市民団体「学校給食費の無償化をめざす桶川市民の会」が市に対し給食費無償化を求めた署名を提出した。

① 署名に応じた市民の思いを、市はどのように受け止め、市政に反映させるのか、市の見解を問う。

3. 駅東口整備事業の現状

(1) 駅前通りと中山道との交差点の今後の計画を問う。

(2) 今年度予算にて南小跡地等利活用調査委託が計上された。

① 調査の具体的計画について問う。

② 調査後の展望について問う。

4. デマンド交通

(1) 第18回地域公共交通会議において、市は「地域交通として始めるのか、福祉政策として始めるのか、早めに検討させていただき」と述べている。

① 地域交通として始めた場合と福祉政策として始めた場合の違いは

何か。

② この会議は昨年１２月の実施である。検討されたその後の状況を問う。

(２) この夏は災害級ともいわれるほどの猛暑で、外出し少しの距離を歩くだけでも身体に大きなダメージを与えてしまうほどであった。バス停までの歩行も困難との高齢者の声も多くあることもあり、ドア・ツー・ドアの交通政策は急務といえる。デマンド交通をめぐる現状に対しての市長の率直な考えを問う。

５．市の医療体制、高齢者福祉体制における課題

(１) ７月の暑い日の昼過ぎ、桶川駅前にてぐったりしている高齢者を見かけた。上尾の病院へ向かうところとのことで車に乗せて病院へ送った、との声をいただいた。また、かかりつけ医から病院を紹介されたが大宮であり、通院にかかる交通費も高くて大変だ、との高齢者からの声もいただいた。

① これらの声から、桶川市の医療体制における課題が見えないか。市の見解及び対応について問う。

② 同様に、高齢者福祉体制における課題が見えないか。市の見解及び対応について問う。

(２) ２０２１年６月の一般質問にて産婦人科医誘致について現状を問うた。この間にも、若い女性から「桶川にはなぜ産婦人科がないのか」との質問を受けた。

① この２年間で産婦人科医誘致に向けてどのような努力がなされたのか。

1 4 番 加藤 ただし

1. 東口整備事業の進捗について

(1) 駅前広場について

- ① 未買収地の筆数と地権者数について
- ② 用地交渉の状況について
- ③ 今後の見通しについて

(2) 中山道拡幅について

- ① 未買収地の筆数と地権者数について
- ② 用地交渉の状況について
- ③ 今後の見通しについて

2. 街路灯について

(1) 駅東口整備事業地内の進捗について

- ① 街路灯組合との打ち合わせ状況について
- ② 打ち合わせでの課題について
- ③ 今後の進め方について

(2) 駅東口整備事業地外の進捗について

- ① 街路灯組合との打ち合わせ状況について
- ② 打ち合わせでの課題について
- ③ 今後の進め方について

3. 健康維持増進のための歯の大切さについて

(1) 歯と健康の因果関係について

- ① 咀嚼の大切さについて
- ② 噛めることと心の健康について
- ③ 自分の歯の数と健康状況について

(2) 歯科健診の大切さについて

- ① 歯科健診の受診状況の推移について
- ② 県内の歯科健診の取組状況について

(3) 歯のフッ化物洗口について

- ① 埼玉県の実施状況について
- ② 県内の市町村での取組状況について
- ③ 当市での取組状況について

4. 妊娠から育児への母子支援について

(1) 妊娠から出産までの支援について

- ① 母親が望む妊娠時の支援について
- ② 現在行っている支援について
- ③ 今後考えている支援について

(2) 出産前後の支援について

- ① 母親が望む出産前後の支援について
- ② 現在行っている支援について
- ③ 今後考えている支援について

(3) 育児支援について

- ① 母親が望む育児時の支援について
- ② 現在行っている支援について
- ③ 今後考えている支援について

1 3 番 浦田 充

1. 平等な投票機会の確保は

(1) 投票の利便性向上に向けた本市の取組について

- ① 期日前投票所拡充に向けた過去一年間の取組を伺う。
- ② 期日前投票所をさらに拡充した場合の効果を伺う。
- ③ 期日前投票所の拡充や期日前投票所としての移動式投票所を設置すべきではないか。
- ④ 市長選挙への記号式投票の導入について、検討状況を伺う。

(2) 投票時の障害者への本市の対応状況について

- ① 言葉を発することが困難な方への本人確認の方法を伺う。
- ② 代理投票における投票先の意思確認方法を伺う。
- ③ 投票所内で本人確認から投票終了まで家族等の付き添いを認めた事例はあるか。
- ④ 障害者が投票所で投票できるように努力していることやそれらについての周知状況を伺う。

2. 桶川市のPRや活性化について

(1) 桶川駅の発車メロディーへのご当地メロディー導入について

- ① これまでの本市における検討状況を伺う。
- ② 上尾駅、鴻巣駅などでご当地メロディーが導入された経緯を伺う。
- ③ ご当地メロディー導入による効果を伺う。
- ④ 桶川駅に導入する場合の課題を伺う。

3. ごみ収集サービスについて

(1) 戸別収集について

- ① 訪問収集の周知状況と利用者数を伺う。
- ② 訪問収集の課題を伺う。
- ③ 子育てや介護をしている家庭への支援策としての訪問収集や戸別収集実施についての本市の考えを伺う。

4. マイン連絡橋のバリア解消はいつなのか

(1) 階段部分のバリアフリーは不要なのか

- ① 施設管理者へ働きかけを行っているにも関わらず、階段部分のバリアフリー化の目処が立たないことを本市はどのように受け止めているか。

るのか。

- ② 階段部分バリアフリー化が施設管理者の過度な負担とならないように、市独自の補助金を設定すべきではないか。
- ③ 階段部分を本市が買い取ってバリアフリー化するという考えがないのはなぜか。

5 番 北村 あやこ

1. 医療及び介護の確保法に基づく市町村計画について

(1) 市民アンケートの結果の反映を

- ① 病院の必要性、周産期医療体制に向けた方向性を計画すべきではないか、市長に伺う。

2. 飛行学校工事の早期解決を

(1) ものづくり大学に対する姿勢

- ① 文書にて、説明を求めた回答と結果、今後の見通しを資料にて説明願う。
- ② 文化財の保存は、実際に使用されている材料が竣工図に記載されているか、税金が使われている変更は正しく増減されているか、設計と竣工図と異なるものをきちんと把握する必要がある。いつまで延ばすつもりか。

3. 放課後児童クラブの改善を

(1) 夏休みの状況について

- ① 待機児童の状況を学校ごとに資料で報告願う、待機者に対する支援はどのように行われたか。
- ② 給食の提供を望む保護者が多いが、県内の状況は。
- ③ 提供の検討を。

4. 川田谷生涯学習センター改修工事

(1) 設計（契約）変更について

- ① 金額を入れたリストを資料で提出願う。全部で何項目か。
- ② 現場指示で合意した時点でなぜ金額の増減の記録を残さなかったのか。
- ③ 材料検査を含めた工事検査はどのような手順で行い、どんな資料を確認したのか。

5. 教育委員会の役割について

(1) 夏休みについて

- ① 当市の夏休み期間を県内の比較一覧表で提出願う。
- ② 猛暑が続く状況に、保護者からは1週間ずらすべきとの声が多い。

時々で対応する変更はなぜ実施できないのか。

(2) いじめ再調査委員会について

① 指摘を受けての改善を伺う。

(3) 市民に開かれた教育委員会を

① 市民、保護者の苦情や意見はどう扱われているか。

② 組織で検討する場と、ホームページ開設を。

10番 新島 光明

1. 会計年度任用職員等の処遇改善について

(1) 勤勉手当の支給について

- ① 地方自治法の一部改正により、一定の要件の下で当該職員に対しても「勤勉手当」支給が2024年4月より可能となった。ただ、法律上は、いわゆる「できる規定」であることから、市としての考え方を伺う。
- ② 法改正により支給対象となる当該職員の要件、該当職員数及び職種について伺う。(該当職種及び所属部署を一覧表にて資料要求)
- ③ 会計年度任用職員制度は、当時の非常勤職員の処遇改善を目的に2020年4月より導入された。この際に期末手当の支給も一定の要件の下で可能となった。しかし、自治体によっては、経費節減のために勤務条件の変更を行い対象から外したり、支給は実施するものの、従来の基本給部分を引き下げて、賃金の総額を同額ないしは若干の改善を図る程度という姑息な手段を使ったところもあるようです。桶川市は今回純粋な勤勉手当の支給を行うのか伺う。
- ④ 今回の勤勉手当の支給額は総額でいくらになるか伺う。

(2) 最低賃金引上げに伴う当該職員等の処遇改善について

- ① 埼玉地方最低賃金審議会は41円の引き上げを決めたとの報道があります。現在の埼玉県最低賃金は987円であり、結果1,028円に引き上げられるものと思う。そこで、桶川市の当該職員の時間給は現在最低額が1,015円となっていて、市の当該職員が最低賃金以下となる状況は当然に避けなければなりません。と同時に最低賃金すれすれの方だけを上げれば良いというものではありません。41円の引き上げ額を全体に反映させるべきと考えるが市の考え方を伺う。
- ② 市の委託先及び指定管理先に働く労働者が最低賃金以下とならないように、委託元として法令順守の観点から10月1日時点の賃金状況を把握し必要ならば指導すべきと考えますが、市のお考えを伺う。
- ③ 今回の最低賃金改定を受けて、シルバー人材センターの指導機関並びに多くの事業を委託する桶川市として、配分金決定に際し最低賃金を参考にするように指導すべきと考えるが、市の考え方を伺う。

2. 放課後児童クラブでの学校の長期休業中の昼食の提供について

この問題では、先の3月議会においても問題提起をさせていただきました。

結果は、課題のオンパレードであったかと思います。そのような中、去る6月28日付でこども家庭庁より「放課後児童クラブにおける食事の提供について」の事務連絡が出されました。内容は、実施自治体の事例を紹介しながら「昼食等の提供・・・については、地域の実情に応じた対応をお願いします」というものです。この通知を受けて、桶川市での今後の実施に向けた検討についてあらためて伺う。

3. マイナ保険証について

- (1) マイナ保険証で本人確認のエラーが生じた場合、原則10割窓口負担のようであるが、国はトラブル防止と不安解消の為に「3割負担」との報道があります。ただ、国保の場合は状況により1～3割負担ですが、保険証が無い中では、誰がどこで判断するのか。また残りの7割負担ないしは8割または9割分は、国が負担するのか伺う。
- (2) 保険者として、医療機関を受診する場合のトラブルを回避する上で、国はマイナ保険証を持っていない被保険者に申請によらず資格確認書を送付すると報道されましたが、被保険者全員に送付すべきと考えますがいかがかお伺いします。
- (3) 国保税滞納者に対しては、場合によって保険証の代わりに資格証明証や短期被保険者証となる場合があるが、今後マイナ保険証あるいは資格確認書となった場合にはどのような取扱いになるのか伺う。
- (4) こども医療費、ひとり親家庭医療費、重度心身障がい者医療費もマイナ保険証に取り込むのか。従来どおり紙ベースなのか。マイナ保険証に取り込まれた際、マイナ保険証未加入の場合は、従来どおり紙ベースの証明書となるのか伺う。
- (5) マイナ保険証未加入者に対して当面国は、プッシュ式で「資格確認書」を出すとしているが、マイナ保険証の手続きが済んだ方で、資格確認書を希望する場合は交付することはできるのか。特に、障がい者施設、高齢者施設など施設入所者のマイナンバーカードの管理が極めて大変との話がある中で、マイナ保険証を持っていたとしても、まとめて資格確認書の交付を検討すべきと考えるが見解を伺う。
- (6) 今回の保険証を廃止しマイナ保険証への一本化は、マイナンバーカードを所持していない被保険者には、保険証が交付されない仕組みになっている。

保険税をきちんと納めていながら保険証が交付されないという、あつ

てはならない事態が発生する可能性があります。桶川市も国民健康保険の保険者として、保険証を交付する義務があると思うが、桶川市としての見解を伺う。

- (7) 生活保護受給者で、マイナンバーカード所持者及び未所持者の医療機関のかかり方について伺う。

17番 佐藤 洋

1. 「もえるごみ問題」の今後の推移について
 - (1) 大まかなスケジュール
 - (2) 川島町との調整
2. 桶川市史等のデジタル化について
 - (1) 市資料のデジタル化によって視覚障害者への対応
 - (2) ペーパーレスによってエコの実現
3. 道の駅について
 - (1) 名称の市民参加
 - (2) 防災の特徴点
 - (3) 市内回遊ルートについて
4. 学校給食について
 - (1) 給食費の無償化について
 - (2) オーガニック給食をめざして
5. 桶川の偉人について
 - (1) 松永緑郎さんについて